WINSOR & NEWTON™

Professional

WATER COLOUR

THE STORIES OF THE COLOURS

絵具１色１色にはそれぞれ物語が隠れています。
そんな絵具たちの物語をご紹介します。

普段何気なく手に取る絵具。
絵具の裏にあるストーリーを知れば、
いつもの絵具が違う表情を見せるかもしれません。

WINSOR & NEWTON™ *Professional* WATER COLOUR

THE STORIES OF THE COLOURS

Winsor & Newton

ウィンザー＆ニュートンは 1832 年、イギリス・ロンドンのラスボーン・プレイスにて創業しました。化学者であるウィリアム・ウィンザーと画家のヘンリー・ニュートンによる科学とアートの融合は、創立以後も多くの革新的なアートマテリアルを生み出す原動力となっています。
ロゴに用いられているグリフィンは、ライオンの上半身、鷲（あるいは鷹）の翼と下半身をもつ伝説上の生物です。このグリフィンのモチーフは、アートとサイエンスの融合を象徴するモチーフとして、ブランドのアイコンに採用されました。

WINSOR & NEWTON™

W&N Professional Water Colour

◆ 品質の高い顔料を使用した最高級水彩絵具です。
◆ 一色の色を１つの原料で作る「単一顔料」製法にこだわっています。
混色してもにごりにくい特長があります。
◆ 退色に強く、長い間作品の品質を保つことができます。
◆ 180 年以上の絵具作りの歴史に基づく、最適な原料の配合レシピに基づいた生産を行っています。

絵具の読み解きかた

絵具のパッケージです

ウィンザーの名を持つレッド

ウィンザーレッドは温かみのある中間の赤色で、ややオレンジ色の色調が特徴です。ウィンザー＆ニュートン独自色の「ウィンザーカラー」のうちの１色です。イギリス･ロンドン発祥のウィンザー＆ニュートンが作っているからか、ユニオンジャックのレッドを思い起こさせるような色味にも感じられます。

絵具ごとの特徴やその色のエピソードをご紹介しています。

①WINSOR RED
②ウィンザーレッド

③色番号 726　⑥シリーズ 1　⑧堅牢度 A
④透明 / 不透明 ◪　⑦G/St St　⑨耐光性 N/A
⑤ピグメント PR254

①色名（英語）... 英語での色名です。
②色名 ... 日本語表記の色名です。
③色番号 ... 色ごとに付けられている３桁の番号。
④透明不透明 ... 透明□・半透明◪・半不透明◩・不透明■の４種類に分類されています。
⑤ピグメント ... 使用されている顔料の名称です。（C.I.Name）
⑥シリーズ ... 顔料の希少性などによって設定されています。１～４までのシリーズがあります。
⑦ G/St... G →グラニューレーション特性（粒状化）、St →ステイニング特性を示しています。
⑧堅牢度 ... AA 極めて堅牢な色～ B 比較的堅牢な色で表されています。
⑨耐光性 ... ASTM（アメリカ材料試験協会）による耐光性等級を示しています。
Ⅰ：最高の堅牢性、Ⅱ：堅牢性を備える
※ N/A の場合は堅牢度等級を参照してください。

色見本
※印刷のため実際の色味とはやや異なります。

WINSOR & NEWTON™ Professional WATER COLOUR

THE STORIES OF THE COLOURS

一番明るい黄色

レモンイエローは、とても明度が高く、寒色よりの黄色です。 かつてマティスも愛用したレモンイエローはバリウムイエロー、ストロンチウムイエローとも言われ、含まれるクロムの毒性などの懸念もありました。その後、1900 年代初めにヘキスト社がドイツで発見したハンザ顔料と呼ばれる顔料の一部であるニッケルチタネートを使用し、安全で安定性のある絵具として生まれ変わりました。名前の通り、レモンを連想させる眩しい黄色です。

LEMON YELLOW (NICKEL TITANATE)
レモンイエロー (ニッケルチタネート)

色番号	347	シリーズ	4	堅牢度	AA
透明 / 不透明	■	G/St	G	耐光性	I
ピグメント	PY53				

ニホニウムの素、ビスマス

光回折が特徴的な結晶でインテリアとしても一部の鉱石マニアに人気のビスマスは、安定した元素の中でもっとも重たい元素であり、2016 年に発見されたニホニウムの原料でもあります。絵具に使用されているバナジン酸ビスマスは 1924 年に薬として登場し、1980 年代に顔料として使われるようになった鮮やかな黄色の顔料で、堅牢にして安全性も高く冷たく美しいイエロー。オーレオリンやカドミウムイエロー好きにもお勧めの 1 色です。

BISMUTH YELLOW
ビスマスイエロー

色番号	025	シリーズ	3	堅牢度	A
透明 / 不透明	◪	G/St	St	耐光性	I
ピグメント	PY184				

発見！美しいイエロー

冷めた黄色のカドミウムレモンは、優れた着色力を持つ単一顔料色です。 カドミウム顔料は 1817 年に発見され、その安定した不透明な色はそれ以来多くのアーティストに支持される顔料となりました。絵具に使われる硫化カドミウムは、自然の中では通常めったに発見されない化合物です。カドミウム顔料として発見されたのは、亜鉛を生成する工場での製造プロセス中で出る不純物として発見されたのがきっかけでした。

CADMIUM LEMON
カドミウムレモン

色番号	086	シリーズ	4	堅牢度	A
透明 / 不透明	■	G/St	St	耐光性	I
ピグメント	PY35				

３原色イエロー

ウィンザーレモンは明るい鮮やかな黄色で、優れた着色特性を備えています。 これは、ドイツの 1900 年代初めに発見されたハンザ顔料のバリエーションです。ウィンザーレモンは、プロフェッショナルウォーターカラーの基本３原色のうちの黄として定義されています。

WINSOR LEMON
ウィンザーレモン

色番号	722	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	◪	G/St	St	耐光性	N/A
ピグメント	PY175				

ウィンザーの名を冠す独自色

ウィンザーイエローは暖かい黄色の顔料です。 1900 年代初頭にヘキスト社によって最初に開発された現代顔料のイエローハンザグループの一部です。ウィンザーカラーは、その名のごとくウィンザー＆ニュートンの独自カラーで鮮やかでユニークな発色が特徴です。ウィンザーカラーは全部で 12 色あり、中でもこの色は使いやすいスタンダードなイエローです。

WINSOR YELLOW
ウィンザーイエロー

色番号	730	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	◪	G/St	St	耐光性	I
ピグメント	PY154				

レモンの皮にぴったり

レモンイエローディープは、明るく不透明なイエローです。明るい色調での粒状化表現が可能です。レモンの皮のぽこぽことした質感を表現するには名前も特徴もぴったりの色ですね。ウィンザー＆ニュートンのみで入手可能な顔料を用いています。

LEMON YELLOW DEEP
レモンイエローディープ

色番号	348	シリーズ	2	堅牢度	AA
透明 / 不透明	◪	G/St	G	耐光性	II
ピグメント	PY159				

金色に輝け！

合成顔料として 1848 年に N.W. フィッシャーが発明し、1861 年にはウィンザー＆ニュートンが世界に先駆けて水彩絵具として発売したオーレオリンは、英国の水彩画家アーロン･ペンリーにより普及しました。コバルト由来の顔料ながら透明度が高く、白地に重ねることで金色の表現に使われます。

AUREOLIN
オーレオリン

色番号	016	シリーズ	4	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	II
ピグメント	PY40				

ユニークな透明イエロー

イエローのレンジはカドミウムイエローなどの不透明色が多いですが、このトランスペアレントイエローはその名の通り透明色です。イエローの透明色は以前は入手がとても困難な顔料を使用しないと実現できませんでした。カドミウム系の黄色は非常に鮮やかですが着色力が強いので、混色にはトランスペアレントイエローの方が馴染みがよいかもしれません。１本あるととても便利でお役立ちな黄色です。

TRANSPARENT YELLOW
トランスペアレントイエロー

色番号	653	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	I
ピグメント	PY150				

WINSOR & NEWTON™ Professional WATER COLOUR

THE STORIES OF THE COLOURS

近代化の賜物

カドミウムイエローペールは淡黄色です。 カドミウムイエローよりもよりトーンが明るくなっています。カドミウムイエローの顔料である、黄色の化合物硫化カドミウムは、1818 年に発見者ストロマイヤーによって絵具の顔料として世に出ました。ただし、その顔料が一般的に普及するまでは 1840 年代半ばに始まった商業化を待たなければなりませんでした。

CADMIUM YELLOW PALE
カドミウムイエローペール

色番号	118	シリーズ	4	堅牢度	A
透明 / 不透明	■	G/St	G/St	耐光性	I
ピグメント	PY35				

ジェームス・ターナーさんの黄色

不透明な中間色のイエローです。1781 年にジェームス・ターナーが特許をとった色で、ウィンザー＆ニュートンでのみこの色を製造しています。当時は、一般的に使用されていたガンボージは耐久性に欠け毒性があるとされていましたが、代わりに毒性の無いターナーズイエローが使われました。

TURNER'S YELLOW
ターナーズイエロー

色番号	649	シリーズ	3	堅牢度	AA
透明 / 不透明	■	G/St	-	耐光性	N/A
ピグメント	PY216				

顔料、時々樹脂

東アジア地域では藤黄として親しまれているガンボージは、マンゴスチン科の植物から採取される黄色の樹脂を粉にしたもので顔料としてだけでなく、樹脂としても利用されていました。1603 年にヨーロッパに薬として持ち込まれたガンボージは金色を作るのに重宝され、初期フランドル派の絵画の内にも見て取れます。元来水性の絵具としては耐久性に欠け毒性があるとされていたガンボージでしたが、改善されニューガンボージとして登場しました。

NEW GAMBOGE
ニューガンボージ

色番号	267	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	◪	G/St	-	耐光性	II
ピグメント	PY150, PR209				

カドミウムカラーといえば！

カドミウムイエローは美しい黄色です。 カドミウムは優れた着色特性を有する不透明顔料で大変着色力も強いです。カドミウムイエローは画面の中でもぱっと目を引く力強さを持つイエローです。アーティストの顔料としてまず知られるようになったのは鮮やかなカドミウムイエローでした。印象派を代表する画家モネも作品の中で使用し、その発色を評価したと言われています。

CADMIUM YELLOW
カドミウムイエロー

色番号	108	シリーズ	4	堅牢度	A
透明 / 不透明	■	G/St	St	耐光性	I
ピグメント	PY35,PO20				

イエローローズ色

ウィンザーイエローディープは、ウィンザーイエローよりも赤みが強く温かな黄色です。ウィンザーイエローと同様に現代顔料のイエローハンザグループのうちの 1 色です。英語で「イエローローズ」というと山吹（やまぶき）のことを指します。イエローローズにぴったりな温かみのある黄色が特長です。

WINSOR YELLOW DEEP
ウィンザーイエローディープ

色番号	731	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	◪	G/St	-	耐光性	II
ピグメント	PY65				

牛に優しく

インドはベンガル地方の特産品であるインディアンイエローは、フェルメールらフランドル派の画家を中心に愛用されましたが、マンゴーの葉だけで育てた雌牛の尿より作るその工程で牛たちの多くが衰弱死していたといいます。この動物虐待な生産工程が知れ渡ると製造と使用に対する非難が起こり、1908 年以降市場での取引は禁止されました。もちろん現在では牛の尿ではなく合成顔料に代替されています。

INDIAN YELLOW
インディアンイエロー

色番号	319	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	-	耐光性	II
ピグメント	PO62, PY139				

科学技術と絵具の関係

カドミウムイエローディープは、暖かい黄色の不透明顔料です。近代以前、人工顔料が多く発明されるまでは、オーカー系の土系黄色絵具が多く使われており、鮮やかなイエローが絵具として登場することになったのは科学技術の発展によるところが大きいと言えます。現代では、カドミウム顔料の色のバリエーションも増え品質の高い顔料が生産できるようになりました。

CADMIUM YELLOW DEEP
カドミウムイエローディープ

色番号	111	シリーズ	4	堅牢度	A
透明 / 不透明	■	G/St	St	耐光性	I
ピグメント	PY35,PR108				

カドミウムならではの発色

カドミウムオレンジは高い着色力と良好な隠蔽力を有する不透明なオレンジの単一顔料色で、世界中のアーティストを魅了する発色が特徴です。カドミウムオレンジは、カドミウムイエローの 50 倍の大きさの粒子であるという E.T. アレンと J.L グレンショーによる研究があり、結晶のタイプ、分割の状態によりこの色の差が出るとされています。

CADMIUM ORANGE
カドミウムオレンジ

色番号	089	シリーズ	4	堅牢度	A
透明 / 不透明	■	G/St	-	耐光性	I
ピグメント	PY35,PR108				

WINSOR & NEWTON™ Professional WATER COLOUR

THE STORIES OF THE COLOURS

オレンジカラーの登場

単色の顔料でつくられるウィンザーオレンジは、混色にも適している半不透明顔料です。鮮やかなオレンジ色は、現代に開発された有機顔料の登場によりもたらされたものが多くあります。アーティストの表現を広げる新しく安全な顔料が多く開発されています。

WINSOR ORANGE
ウィンザーオレンジ

色番号	724	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	◪	G/St	-	耐光性	II
ピグメント	PO62				

フレッシュな果汁のよう

単一の顔料の色であるウィンザーオレンジ（レッドシェード）は、クリアで温かみのあるオレンジ色です。この色に使われるピロール顔料は有機顔料の一つであり、橙〜赤の色相をカバーする顔料です。オレンジの色名は果物のオレンジから名付けられたと言われています。太陽の光を浴びて熟したみずみずしいオレンジを思わせるフレッシュな色です。

WINSOR ORANGE (RED SHADE)
ウィンザーオレンジ (レッドシェード)

色番号	723	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	◪	G/St	St	耐光性	N/A
ピグメント	PO73				

緋色の毛布

カドミウム顔料はイエローからオレンジ、バーミリオンからマルーンの色相まで調整ができる合成顔料で、カドミウムスカーレットはスカーレットの色相に調整をしています。スカーレットは古代アラビア語で「赤いシルクの布」を意味する言葉でしたが、古代ペルシア、古代フランスと移るに従って「赤い毛布」の意味に変わりました。日本では緋色と訳される鮮やかな赤です。カドミウムレッドに比べ、マゼンタ寄りの色味です。

CADMIUM SCARLET
カドミウムスカーレット

色番号	106	シリーズ	4	堅牢度	A
透明 / 不透明	■	G/St	St	耐光性	I
ピグメント	PR108				

長い長い赤のはなし〜スカーレット〜

スカーレットの歴史は古く、古代アラビア語で「赤いシルクの布」を意味する言葉が語源だとされています。クリムソンは原料に由来する名前ですが、スカーレットは色そのものを表す名であり、クリムソン系が使用されていたと考えられています。日本では緋色と呼ばれるこの色は、キリスト教において多くの意味を持つ色であり、血と犠牲の意味として十字軍の旗に、黙示録では罪の色として、そして法の色でもあります。

SCARLET LAKE
スカーレットレーキ

色番号	603	シリーズ	2	堅牢度	A
透明 / 不透明	◪	G/St	St	耐光性	II
ピグメント	PR188				

マティスのおススメ

不透明で強い発色をもつカドミウムレッドは、アンリ・マティスが愛用し、ルノアールにヴァーミリオンの代わりに使うよう勧めたとも言われています。強い発色の不透明な赤は古来より存在していましたが、有害なものだったため多くの画家のパレットでカドミウムレッドに代わるようになりました。

CADMIUM RED
カドミウムレッド

色番号	094	シリーズ	4	堅牢度	A
透明 / 不透明	■	G/St	G/St	耐光性	I
ピグメント	PR108				

美しい赤には毒がある？

鉛のミニウム、水銀のヴァーミリオンに代わる強く鮮やかな赤ですが、有毒な顔料としての印象を持たれがちなカドミウム。顔料のカドミウムは安定している硫化カドミウムを使用しているため無害に近いとする研究もあり、ヨーロッパでは顔料のカドミウムは規制の対象外です。しかし､アメリカでは顔料であってもカドミウムはすべて有害だとして規制されています。現状完全に無害とも有害とも言い切れない顔料ですが、その発色はカドミウムだからこそ実現できるものでもあるのです。

CADMIUM RED DEEP
カドミウムレッドディープ

色番号	097	シリーズ	4	堅牢度	A
透明 / 不透明	■	G/St	G	耐光性	I
ピグメント	PR108				

ウィンザーの名を持つレッド

ウィンザーレッドは温かみのある中間の赤色で、ややオレンジ色の色調が特徴です。ウィンザー＆ニュートン独自色の「ウィンザーカラー」のうちの１色です。イギリス・ロンドン発祥のウィンザー＆ニュートンが作っているからか、ユニオンジャックのレッドを思い起こさせるような色味にも感じられます。

WINSOR RED
ウィンザーレッド

色番号	726	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	◪	G/St	St	耐光性	N/A
ピグメント	PR254				

金色のバラ

ローズドーレはやや黄色の色調を持つ明るいバラ色の顔料です。 透明度が高いステイニング絵具です。ローズドーレの名称は実はフランス語で、英語にすると「ゴールデンローズ」となります。その名の通り、華やかかつ柔らかな色調のバラ色で、お花はもちろん人物表現にも向いています。

ROSE DORE
ローズドーレ

色番号	576	シリーズ	4	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	II
ピグメント	PY97, PV19				

WINSOR & NEWTON™ Professional WATER COLOUR

THE STORIES OF THE COLOURS

長い長い赤のはなし～キナクリドン～

1950 年代にデュポン社によって開発された高い耐光性を持つキナクリドン顔料は、ローズ、マゼンタ色として市場に登場して以降、その後 50 年の間にディープクリムソンからゴールドまで、様々な色が開発されました。それまでこれらの色の多くは耐光性が弱いという難点を抱えていたため、キナクリドン顔料の登場はこれらの色への絵具のイメージを一新しました。キナクリドン顔料は耐光性の改善に多くの色で採用されています。

QUINACRIDONE RED
キナクリドンレッド

色番号	548	シリーズ	3	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	-	耐光性	II
ピグメント	PR209				

深い深い紅

半不透明なブルーシェード寄りの深紅色です。耐久性にも優れ、カドミウムレッドディープの代替色としても使用できます。ウィンザー＆ニュートン独自色の「ウィンザーカラー」のうちの 1 色です。

WINSOR RED DEEP
ウィンザーレッドディープ

色番号	725	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	◪	G/St	St	耐光性	N/A
ピグメント	PR264				

長い長い赤のはなし～アリザリン～

1868 年にドイツ・BASF 社によってアリザリンを染料として合成する方法が開発され、西洋アカネのマダー系統のみならずクリムソン系まで幅広くカバーできるアリザリンは赤透明色カテゴリーではなくてはならない存在でしたが、更なる高機能であるデュポン社によって開発されたキナクリドンに少しずつ置き換わりつつあり、パーマネントアリザリンクリムソンはその好例です。

PERMANENT ALIZARIN CRIMSON
パーマネントアリザリンクリムソン

色番号	466	シリーズ	3	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	N/A
ピグメント	PR206				

長い長い赤のはなし～クリムソン～

クリムソンという語は古期スペイン語のケルメス、ラテン語のカーマインとも共通します。ケルメスの語源は「虫によって作り出された（赤い色素）」を意味する複合語であり、ケルメスから得られた赤は「聖ヨハネの血」とも呼ばれ、紫がかった赤い色を指す言葉として定着します。アリザリンの元となるアカネソウは古代から染料として栽培されており、1868 年にドイツ・BASF 社によってアリザリンを染料として合成する方法が開発されました。クリムソン色をしたアリザリン顔料の絵具。それがアリザリンクリムソンです。

ALIZARIN CRIMSON
アリザリンクリムソン

色番号	004	シリーズ	1	堅牢度	B
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	N/A
ピグメント	PR83				

長い長い赤のはなし～カーマイン～

カーマインという語は古期スペイン語のケルメス、クリムソンとも共通し、コチニールに由来します。コチニールは 1523 年のメキシコ征服後にヨーロッパにもたらされた赤い染料で、サボテンに住む昆虫を原料とします。この染料を顔料化させたカーマイン顔料は耐光性に難があり使われなくなりました。今日のパーマネントカーマインは原料を変更することで耐光性を改善したカーマインです。

PERMANENT CARMINE
パーマネントカーマイン

色番号	479	シリーズ	3	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	N/A
ピグメント	N/A				

パーマネントの由来

「パーマネント」は耐光性に問題のある色を色を保ちつつ新しい顔料で代替されたものに付けられる名称です。もとは植物から採れる染料を顔料にしていましたが、染料由来の顔料はどうしても耐光性に難がありました。ウィンザー＆ニュートンでは 1950 年代に堅牢性に定評のあるキナクリドン顔料でパーマネントローズとして生まれ変わりました。

PERMANENT ROSE
パーマネントローズ

色番号	502	シリーズ	3	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	II
ピグメント	PV19				

バラの香りのする絵具 !?

セイヨウアカネという植物の根から抽出した原料から作られる伝統的な顔料を用いているため、ほのかにバラのような香りがするなんともロマンティックな絵具で、優しいピンク色が特徴です。W&N の高品質な顔料へのこだわりと、天然のものを安定的に絵具として生産する技術があるからこそご提供できる「本物」を使った絵具です。

ROSE MADDER GENUINE
ローズマダー ジェニュイン

色番号	587	シリーズ	4	堅牢度	B
透明 / 不透明	□	G/St	G	耐光性	N/A
ピグメント	NR9				

お花を描くためのピンク

オペラローズは鮮やかなマゼンタのバラ色です。非常に明度が高く、お花を描くアーティスト向けに開発されました。とても明度の高い色で、ガーデンに存在する最も鮮やかな色を再現するのに理想的な色ということができます。画面がとても華やかになるので、非常に人気のあるピンクです。

OPERA ROSE
オペラローズ

色番号	448	シリーズ	2	堅牢度	B
透明 / 不透明	◪	G/St	-	耐光性	N/A
ピグメント	PR122				

WINSOR & NEWTON™ Professional WATER COLOUR

THE STORIES OF THE COLOURS

長い長い赤のはなし～マゼンタⅠ～

1859 年の第二次イタリア独立戦争で行われた戦闘「マジェンタの戦い」より名づけられたマゼンタは、元が染料であったため「レーキ化」という処理で顔料としていました。しかし耐光性に難があり、今日では耐光性の高いキナクリドン顔料に代替されています。ちなみにマゼンタの戦いの影響は色のマゼンタだけではなく、フランスの将軍がマゼンタ公爵に叙せられ、パリではマゼンタ通りが命名されています。マゼンタ歴史散策、いかがでしょうか？

QUINACRIDONE MAGENTA
キナクリドンマゼンタ

色番号	545	シリーズ	3	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	-	耐光性	N/A
ピグメント	PR122				

長い長い赤のはなし～マゼンタⅡ～

1859 年にフランソワ＝エマニュエル・ベルグインが合成したフクシンを染料として使用することを発明し、同年の第二次イタリア独立戦争で行われた戦闘「マジェンタの戦い」にちなみ、この染料はマゼンタと名づけられることになりました。マゼンタはその後、色の三原色としての重要なポジションを担うものの耐光性に難がありましたが、1950 年代に登場したキナクリドン顔料に代替され、堅牢性のある色として生まれ変わりました。

PERMANENT MAGENTA
パーマネントマゼンタ

色番号	489	シリーズ	3	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	I
ピグメント	PV19				

印象派画家に愛された紫

コバルトバイオレットは繊細な半透明の紫色の顔料です。 ピンクがかったユニークな紫色と、粒状化するテクスチャが特徴的です。このコバルトバイオレットは 1860 年代の新しい合成色素であり、モネやジョルジュ・スーラのような有名な芸術家が好んで使った色だったと言われています。顕微鏡で見ると不規則な粒子と房状の粒子群からなるこの顔料は、屈折率が高く輝きのある発色をします。

COBALT VIOLET
コバルトバイオレット

色番号	192	シリーズ	4	堅牢度	AA
透明 / 不透明	◪	G/St	G	耐光性	I
ピグメント	PV14				

アオイの花の紫

モーブという色名は、フランス語でアオイ（植物）を意味する言葉として命名されました。 もともと有機顔料の一種であるレーキ顔料であるモーブは、1856 年にウィリアム・パーキン卿によってイギリスで発見されました。アニリン染料を材料に作られたモーブは染織で人気を誇りましたが、耐光性に難があり、より安定性のあるマンガニーズ顔料に置き換えられ、パーマネントモーブとして生まれ変わりました。マンガニーズ顔料に由来する粒状化絵具ならではの表情が作りやすい紫色です。

PERMANENT MAUVE
パーマネントモーブ

色番号	491	シリーズ	3	堅牢度	A
透明 / 不透明	◪	G/St	G	耐光性	I
ピグメント	PV16				

濃密バイオレット

ウィンザーバイオレット（ディオキサジン）は鮮やかなミッドシェードの紫色の顔料です。 水で薄めない場合、深い紫がかった黒としても使用することができます。ディオキサジン顔料は透明なコールタールを原料とする顔料で、1960 年代にウィンザー＆ニュートンの絵具に導入されました。

WINSOR VIOLET (DIOXAZINE)
ウィンザーバイオレット（ディオキサジン）

色番号	733	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	N/A
ピグメント	PV23				

海を越えたバイオレット

1828 年にフランスのギメがウルトラマリンブルーの合成に成功したことで、天然には無い色味を作り出すことにも成功しました。紫の顔料は非常に種類が少なく、非常に貴重な 1 色です。ウルトラマリンブルーの混色レシピは古くから数多く考案されていますが、ウルトラマリンブルーをウルトラマリンバイオレットに置き換えることで新しい混色の世界を拓いてみてはいかがでしょう？

ULTRAMARINE VIOLET
ウルトラマリンバイオレット

色番号	672	シリーズ	2	堅牢度	A
透明 / 不透明	◪	G/St	G	耐光性	I
ピグメント	PV15				

青い絵具のニューフェイス

インダンスレンブルーはクリーンな発色が特徴の深青色の顔料です。 もともと現代に開発された有機染料でしたが、透明度も耐光性も高く、非常に堅牢な色として重宝されています。ウィンザー＆ニュートンシリーズには 1991 年に仲間入りした色です。

INDANTHRENE BLUE
インダンスレンブルー

色番号	321	シリーズ	3	堅牢度	A
透明 / 不透明	◪	G/St	-	耐光性	N/A
ピグメント	PB60				

みんな大好きコバルトブルー

英国の水彩画家協会の創始者である水彩画家ジョン・ヴァーリーは、ターナーなど多くの後世に名を残した弟子を育てた英国水彩画の巨匠でした。彼が著した「カラーリスト」の 1 行目にコバルトブルーが登場し、ウルトラマリンの代わりに、また空を描く青としての使用を推奨しています。ターナー、モネ、ゴッホなど多くの画家に愛されたブルーです。

COBALT BLUE DEEP
コバルトブルーディープ

色番号	180	シリーズ	4	堅牢度	AA
透明 / 不透明	◪	G/St	G	耐光性	N/A
ピグメント	PB74				

WINSOR & NEWTON™ *Professional* WATER COLOUR

THE STORIES OF THE COLOURS

近代のラピスラズリ

かつて、アフガニスタンの山奥で産出される宝石ラピスラズリを原料として生産されたウルトラマリン。中世には非常に高価でしたが、聖母マリアのマントの色としてキリスト教圏では非常に重要な色でした。現在のフレンチウルトラマリンは 1828 年にフランスの化学者ギメによって、ラピスラズリに代わる顔料として合成的で化学的に同じ代替品として作られました。ウィンザー＆ニュートンでは 1832 年創業当時のカタログに "Guimet's Ex.Fine Ultramarine" として提供を始めていたことが確認されています。

FRENCH ULTRAMARINE
フレンチウルトラマリン

色番号	263	シリーズ	2	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	G	耐光性	I
ピグメント	PB29				

海を越えるブルー

アフガニスタンの山奥で産出される宝石ラピスラズリを原料とするウルトラマリンは、その名の示すとおり「海（マリン）を越えて (ウルトラ)」ヨーロッパにはもたらされました。しかし高価な顔料は使用出来る画家は限られていました。1828 年にフランスの J.B. ギメが人工ウルトラマリンを開発に成功することで誰もが手にできるようになりました。フレンチウルトラマリンはやや赤味を帯びているのに対し、こちらはやや緑味が強いことが特徴です。

ULTRAMARINE (GREEN SHADE)
ウルトラマリン (グリーンシェード)

色番号	667	シリーズ	2	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	-	耐光性	I
ピグメント	PB29				

悪霊コボルトのブルー

1802 年にテナールによって合成顔料のコバルトブルーは登場しました。鉱石としてのコバルトは 15 世紀にボヘミア近辺で鉱脈を発見されるも、つかえない金属だと鉱山運営者を悩ませ悪霊を意味する「コバルト」もしくは「コボルト」と呼ばれていましたが、当時非常に高価だったウルトラマリンに代わる青色顔料として登場したコバルトブルーはそのイメージを一新させたことでしょう。

COBALT BLUE
コバルトブルー

色番号	178	シリーズ	4	堅牢度	AA
透明 / 不透明	◪	G/St	G	耐光性	I
ピグメント	PB28				

３原色ブルー

ウィンザー＆ニュートンがウィンザーブルーとして 1938 年に発売したウィンザーブルーは、1920 年代に登場した多くのブルーと同系統のフタロシアニン系顔料を使用しています。ウィンザーブルー (レッドシェード) は、プロフェッショナルウォーターカラーの基本３原色のうちの青として定義されています。

WINSOR BLUE (RED SHADE)
ウィンザーブルー (レッドシェード)

色番号	709	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	II
ピグメント	PB15				

錬金術で練成したブルー・改

合成顔料としては最も古いプルシアンブルーが登場して以降、同様の製法で多種多様な名称が誕生しました。プロシアの青という意味のプルシアンブルーに対し、都市名でベルリンブルー、発明者の名前を採ってディースバッハブルー、また同時期にフランスでも発明されていたことからパリブルーなどの異称もあります。ベルギー北部の都市アントワープにて製造されたアントワープブルーは、プルシアンブルーよりもやや柔らかな色合いが特徴です。

ANTWERP BLUE
アントワープブルー

色番号	010	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	-	耐光性	I
ピグメント	PB27				

錬金術で練成したブルー

合成顔料としては最も古いプルシアンブルーは、1704 年前後のベルリンで当時有名だった錬金術師から材料のおこぼれを貰って赤い顔料を精製しようとしうっかり出来てしまったもの。現代では安心安全な材料を用い、工場で生産されていますのでご安心を。その着色力からルノアールをして「危険な色」と言わしめる力強いブルーです。

PRUSSIAN BLUE
プルシアンブルー

色番号	538	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	I
ピグメント	PB27				

ウィンザーの名を持つブルー

ウィンザー＆ニュートンがウィンザーブルーとして 1938 年に発売したウィンザーブルーは、1920 年代に登場した多くのブルーと同系統のフタロシアニン系顔料を使用しています。ウィンザーブルー (グリーンシェード) は、真夏の青空を思わせるような爽やかなブルーが特徴です。

WINSOR BLUE (GREEN SHADE)
ウィンザーブルー (グリーンシェード)

色番号	707	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	II
ピグメント	PB15				

青空にもいろいろある

青空を表現するのに人気のセルリアンブルー。セルリアンブルーはやや緑味の強い空色ですが、こちらのセルリアンブルー (レッドシェード) は、やや赤味が強くなっています。時間や場所によって変化する空の色、今日の空はどちらのセルリアンブルーの色に近いのかな、と時々空と絵具を眺めてみては？

CERULEAN BLUE (RED SHADE)
セルリアンブルー (レッドシェード)

色番号	140	シリーズ	3	堅牢度	AA
透明 / 不透明	■	G/St	G	耐光性	I
ピグメント	PB35				

WINSOR & NEWTON™ *Professional* WATER COLOUR

THE STORIES OF THE COLOURS

空の青

ラテン語でセルリアンは空を意味する言葉であり、セルリアンブルーはその名の通り明るい空色のブルーです。1805 年に開発され、1860 年にジョージ・ラウニーにより英国の市場に登場しました。印象派の女流画家ベルト・モリゾが「A Summer's Day」にてウルトラマリンやコバルトブルーと組み合わせて使用しています。コバルト系の顔料のため、コバルトブルーやオーレオリンらと同種族です。

CERULEAN BLUE
セルリアンブルー

色番号	137	シリーズ	3	堅牢度	AA
透明 / 不透明	◪	G/St	G	耐光性	I
ピグメント	PB35				

安全な紺碧色

マンガニーズブルーヒューは、澄んだ緑味の強い紺碧色です。現在では、硫酸バリウムの体質顔料に定着させたマンガン酸バリウムをベースとした顔料はその有毒性からあまり使われなくなってしまいました。絵具の色名の「ヒュー (HUE)」とは、かつて使用されていた顔料と非常に近い発色を持つ安全な代替顔料を使用しているということを示しています。

MANGANESE BLUE HUE
マンガニーズブルーヒュー

色番号	379	シリーズ	2	堅牢度	A
透明 / 不透明	◪	G/St	G	耐光性	II
ピグメント	PB15				

Phtharocyanine!

フタロターコイズは濃い青緑色の顔料で、赤のアンダートーンです。 フタロとは、フタロシアニン (Phtharocyanine) 顔料のことを示しています。1930 年代に導入されたブルー系の色味の透明な顔料です。1 色でも濃淡でいろいろな表情が作れる美しいブルーです。

PHTHALO TURQUOISE
フタロターコイズ

色番号	526	シリーズ	2	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	N/A
ピグメント	PB16				

トルコ石のブルー

コバルトターコイズライトは、姉妹色のコバルトターコイズと比較して、より明るくやや緑がかった色です。混色ではなかなか再現が難しい、繊細な半不透明色です。

COBALT TURQUOISE LIGHT
コバルトターコイズライト

色番号	191	シリーズ	4	堅牢度	AA
透明 / 不透明	◪	G/St	G	耐光性	N/A
ピグメント	PG50				

トルコからもたらされた石

ターコイズ自体は日本では「トルコ石」とも呼ばれる、ペルシア（現在のイラン）原産の宝石です。トルコを通じてヨーロッパにもたらされたため、ターコイズはフランス語で「トルコの」を意味します。

COBALT TURQUOISE
コバルトターコイズ

色番号	190	シリーズ	4	堅牢度	AA
透明 / 不透明	◪	G/St	-	耐光性	I
ピグメント	PB28, PB36				

リンマンのグリーン

コバルトグリーンは半不透明の明るい緑色で、強い青色のアンダートーンが特徴です。 1780 年にスウェーデンの化学者スヴェン・リンマンがコバルトとジンクの化合物を作ることで発見されました。発見者の名にちなみ、「リンマングリーン」とも呼ばれます。

COBALT GREEN
コバルトグリーン

色番号	184	シリーズ	4	堅牢度	AA
透明 / 不透明	◪	G/St	G	耐光性	N/A
ピグメント	PG50				

ミントのような爽やかグリーン

ウィンザーグリーン（ブルーシェード）は、青いアンダートーンを持つ鮮やかな透明な緑色の顔料です。 1930 年代に導入された現代のフタロシアニン顔料から作られています。堅牢で透明感がありながら力強く鮮やかな発色が特徴です。ミントグリーンに近い色味で、爽やかさがあるグリーンです。

WINSOR GREEN (BLUE SHADE)
ウィンザーグリーン (ブルーシェード)

色番号	719	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	I
ピグメント	PG7				

ラテン語の「緑」

ヒ素を含み猛毒だった人工エメラルドグリーンに代わる色として、1838 年にパリの Pannetier とその後継者である Binet により開発されました。ビリジアンの名はラテン語の緑を表す「virids」に由来します。紫に並ぶ緑も顔料がほとんど無かったため、単一の顔料で美しい緑を彩るビリジアンの登場は極めて画期的だったと言えるでしょう。ウィンザー＆ニュートンが 1930 年に世界に先駆けて販売しており、オーレオリンを普及させた水彩画家アーロン・ペンリーがビリジアンの普及にも関わっています。

VIRIDIAN
ビリジアン

色番号	692	シリーズ	3	堅牢度	AA
透明 / 不透明	□	G/St	G	耐光性	I
ピグメント	PG18				

WINSOR & NEWTON™ Professional WATER COLOUR

THE STORIES OF THE COLOURS

アート & サイエンス

ウィンザーグリーン（イエローシェード）は、黄色のアンダートーンを持つ鮮やかな透明な緑色の顔料で、フタロシアニン顔料から作られているうちの１色です。彩度の高いグリーンやブルーの絵具は、現代に開発された顔料により気軽に手に入るようになりました。

WINSOR GREEN (YELLOW SHADE)
ウィンザーグリーン (イエローシェード)

色番号	721	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	I
ピグメント	PG36				

母なる大地の緑

「terre = 大地、verte= 緑」和名にすると「緑土」の名前を持つこの絵具の顔料は、柔らかい緑色で、淡い色合いを混色するのに完璧な、やや低い着色力を持つ半透明な顔料です。ポンペイやデュラ・エウロポスにあるローマ時代の壁画に用いられ、イタリアの画家たちは肌色の下塗りによく用いていました。

TERRE VERTE
テールベルト

色番号	637	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	◪	G/St	G	耐光性	I
ピグメント	PG23,PG18,PB28				

緑っぽい黒？黒っぽい緑？

ペリレーングリーンは暗い透明の緑色の顔料です。 希釈されていないとほぼ黒に見えるので、グリーンのニュアンスが感じられる黒としても使うことができます。植物や寒色系の陰影表現としても使えそうです。

PERYLENE GREEN
ペリレーングリーン

色番号	460	シリーズ	2	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	N/A
ピグメント	PBk31				

迷彩服グリーン

1809 年より磁器工場で使用されていたオキサイドオブクロミウムは、1862 年まで顔料としてはあまり使用されませんでした。クロームグリーンの名称で呼ばれることもあり、初期にはラテン語で緑を意味するビリジアンと呼ばれていました。鈍く不透明なグリーンは、今日では迷彩服にしばしば使用されている色です。

OXIDE OF CHROMIUM
オキサイドオブクロミウム

色番号	459	シリーズ	3	堅牢度	AA
透明 / 不透明	■	G/St	G/St	耐光性	I
ピグメント	PG17				

植物画家が調合したグリーン

イギリス王立園芸協会専属の博物画家ウィリアム・フッカー（1779 年～ 1832 年）が葉を描くのに特別に調合したグリーン。もとはプルシアンブルーとガンボージを調合するレシピでしたが、今日ではより安全で耐久性のあるレシピで生まれ変わりました。ボタニカルアートには欠かせない１色です。

HOOKER'S GREEN
フーカスグリーン

色番号	311	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	I
ピグメント	PY110,PG36				

元は植物由来でした

パーマネントサップグリーンは黄色のアンダートーンを持つ豊かなミッドレンジの緑です。 もともとのサップグリーンは、完熟していないクロウメモドキという植物の実から作られた顔料でしたが、現代ではより耐光性の強い安定した顔料が代わりに使われています。

PERMANENT SAP GREEN
パーマネントサップグリーン

色番号	503	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	I
ピグメント	PG36,PY110				

植物表現にぴったり

オリーブグリーンは、天然の緑色のオリーブのトーンにちなんで命名された、柔らかく茶色味のあるグリーンです。その名前の通り、植物の緑には最適で、透明色なので混色でも力を発揮します。植物をモチーフにする際には是非使ってみてはいかがでしょうか。

OLIVE GREEN
オリーブグリーン

色番号	447	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	II
ピグメント	PY65,PB15:6,PR101				

緑の土

テールベルト（イエローシェード）は、透明な柔らかい緑色の色で､テールベルトよりも黄色のアンダートーンが強い色です。イタリアのヴェローナ近くの鉱山から採掘されたので、ヴェローナ・グリーンとも呼ばれていました。今も実際の土を原料に作られている色です。

TERRE VERTE (YELLOW SHADE)
テールベルト (イエローシェード)

色番号	638	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	□	G/St	G	耐光性	I
ピグメント	PG23				

WINSOR & NEWTON™ Professional WATER COLOUR

THE STORIES OF THE COLOURS

輝く緑

グリーンゴールドは緑色の色合いを持つ豊かな黄金色です。ゴールドという言葉が含まれている通り、光り輝くような表現ができる色です。高い透明度を持ち、水の分量によって、1 色でもいろいろな表情が見られる色です。

GREEN GOLD
グリーンゴールド

色番号	294	シリーズ	2	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	-	耐光性	N/A
ピグメント	PY129				

古代のロマン黄色編

Naples（ネイプルス）は、イタリアの都市ナポリのこと。約 2000 年前のヴェスヴィオ火山の噴火による堆積物中から見つかったことから、ナポリの黄色と呼ばれています。古くは、紀元前 2500 年前の古代バビロニアやアッシリアで使用されていたと言われる歴史の長い色で、不透明でピンクがかった黄色が特徴です。

NAPLES YELLOW
ネイプルスイエロー

色番号	422	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	■	G/St	-	耐光性	I
ピグメント	PW6,PBr24				

続・古代のロマン黄色編

古代バビロニアやアッシリアで使用されたネイプルスイエローは、巨匠・ルーベンスが用いたともされています。鉛の強い毒性から、現在ではクロムチタンに置き換えられています。鉛だったときは硫化に弱く黒変する扱い難さがありましたが、今日では混色を気にすることなく使用することができます。

NAPLES YELLOW DEEP
ネイプルスイエローディープ

色番号	425	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	■	G/St	-	耐光性	I
ピグメント	PBr24				

オーカーのバリエーション

イエローオーカーライトは薄い暖色の黄色です。 もともとは天然の鉄酸化物で作られたもので、人類が使用した最も古い顔料の一つです。イエローオーカーよりもより淡い色味で、黄色としても使える黄土色です。オーカーはどのような技法で用いても耐久性があり、希酸・希アルカリに侵されない優れた堅牢性を誇ります。西洋絵画史のあらゆる時代で重要な色であり、ド・ヴィルトはオランダの全期に亘る絵画のなかで 12 の使用例を報告しています。

YELLOW OCHRE LIGHT
イエローオーカーライト

色番号	745	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	◪	G/St	-	耐光性	I
ピグメント	PY43				

最古の土絵具！

フランスの最良質のオーカーとしてヴォークルズ地方で産出される黄土が有名ながら、オーカーは世界中いたるところにあり、古くは推定 1 万 5 千年前のアルタミラ洞窟やラスコー洞窟にも同系の顔料が登場します。天然ものゆえに色幅は淡い黄色から赤褐色までと幅広く、エジプト、ローマ、そして東洋でも古代より親しまれ、その類稀なる堅牢性は現存する作品が証明しています。1920 年代に合成版が登場し色幅の拡大と安定的な供給が可能となりました。

YELLOW OCHRE
イエローオーカー

色番号	744	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	◪	G/St	-	耐光性	I
ピグメント	PY43				

金色の名を持つオーカー

ゴールドオーカーは、オーカーと名のつく色の中の一種で、暖かい茶色がかった黄色です。イエローオーカーやブラウンオーカーなどオーカーの土系絵具の仲間ですが、黄金を思わせるリッチな色合いが特徴です。

GOLD OCHRE
ゴールドオーカー

色番号	285	シリーズ	2	堅牢度	AA
透明 / 不透明	◪	G/St	St	耐光性	I
ピグメント	PY42				

イタリアの透明な土

ルネサンス期にイタリアのトスカーナ地方シエナから供給されたこの顔料は、オーカーに比べ鉄分が多く透明度が高く、古代より西洋のあらゆる時代の絵画で重宝され続けています。現在では良質な天然の顔料が採掘され尽くしてしまったため、合成酸化鉄顔料で再現し安定した供給を実現しています。ウルトラマリンと混色しオリーブグリーンにするレシピが有名です。

RAW SIENNA
ローシェンナ

色番号	552	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	□	G/St	G	耐光性	I
ピグメント	PY42,PR101				

自動車のゴールド

キナクリドンゴールドは自動車工業において生まれ、絵具の世界でも使われるようになりました。以前はキナクリドン系の単一の顔料でしたが、原料が入手困難となったため、キナクリドン顔料をベースに 3 種類の顔料を使用した調合色として再現されています。3 種の顔料から成る調合色ではありますが、他の色との混色にも使える配合です。

QUINACRIDONE GOLD
キナクリドンゴールド

色番号	547	シリーズ	3	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	N/A
ピグメント	PR206,PV19,PY150				

WINSOR & NEWTON™ Professional WATER COLOUR

THE STORIES OF THE COLOURS

先史時代ブラウン

ブラウンオーカーは、人類によって使用された最も古い顔料の 1 つであり、様々な先史時代の洞窟の芸術で見ることができます。 地球上で採取できる天然の粘土から作られたブラウンオーカーは、透明度も高く多彩なブラウンです。

BROWN OCHRE
ブラウンオーカー

色番号	059	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	◪	G/St	G	耐光性	I
ピグメント	PBr7				

強固なブラウン

マグネシウムブラウンはオレンジ寄りのブラウンです。不透明かつとても耐光性が高い色で、強い粒状化特性が見られます。ブラウンカラーで粒状化特性を持つという特徴を活かし、砂や土のテクスチャを表現するのに使ってみてはいかがでしょうか？

MAGNESIUM BROWN
マグネシウムブラウン

色番号	381	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	■	G/St	G	耐光性	N/A
ピグメント	PY119				

透明な土も焼いてみました

バーントシェンナはローシェンナを焼成することによって作られた豊かな茶色の顔料です。 ルネッサンス時に顔料が供給されたイタリアのシエナにちなんで名付けられた、赤褐色の透明な顔料です。

BURNT SIENNA
バーントシェンナ

色番号	074	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	□	G/St	-	耐光性	I
ピグメント	PR101				

赤土物語

赤い大地や錆びた表現にこれほど適した絵具はありません。赤土と呼ばれる土は第二酸化鉄、つまり赤錆の成分を多く含み、ライトレッドはそうした赤土を素材としています。同じく赤土系のベネチアンレッド、インディアンレッドと比較するとややブラウンがかっているのが特徴です。

LIGHT RED
ライトレッド

色番号	362	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	◪	G/St	-	耐光性	N/A
ピグメント	PR102				

ベネチア派！！

ベネチア派の巨匠、ティツィアーノも愛用のベネチアンレッドは、イタリアのベネチアを擁するヴェネト地方を由来とする鉄分を多く含む安定した土系の絵具です。ライムホワイトとの混色で肌の質感表現に用いられたとされていますが、ライムホワイトは油とは相性が悪く透明化してしまうものだったため、現存する多くのベネチア派の絵画はの多くはベネチアンレッドの色に寄っています。

VENETIAN RED
ベネチアンレッド

色番号	678	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	■	G/St	St	耐光性	I
ピグメント	PR101				

赤土物語 ～インド篇～

「インディアン」はネイティブアメリカンではなく、インドのこと。インディアンレッドはインドで産出される赤土が起源の先史時代から使われている非常に古い顔料です。ベネチアンレッド、ライトレッドと同系統のもので、産出地の違いにより色味が異なります。インディアンレッドはやや青みを帯びているのが特徴です。

INDIAN RED
インディアンレッド

色番号	317	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	■	G/St	-	耐光性	I
ピグメント	PR101				

長い長い赤のはなし～マダー～

マダー系の名を持ちますが、キナクリドンバーントシェンナ、キナクリドンマルーンの名称でも使われる堅牢なキナクリドン顔料が使用された赤茶です。そのため特にキナクリドン系との混色に相性がよく、秋色のパレット作りには欠かせない一色です。バーントシェンナの代わりに使える色相です。

BROWN MADDER
ブラウンマダー

色番号	056	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	◪	G/St	St	耐光性	N/A
ピグメント	PR206				

陶磁器のピンク

1780 年頃にイギリスの無名の陶工によって開発されたこの色は、しばしば陶器やフレスコ画で使用されています。19 世紀にウィンザー & ニュートンが「ピンクカラー」として水彩絵具の世界に紹介し、現在では「Potter's（陶工の）」と名を改めています。レッドやホワイトの混色からは作ることができない、半不透明で柔らかなローズカラーは人物表現に使いやすい 1 色です。

POTTER'S PINK
ポーターズピンク

色番号	537	シリーズ	2	堅牢度	AA
透明 / 不透明	◪	G/St	G	耐光性	N/A
ピグメント	PR233				

WINSOR & NEWTON™ Professional WATER COLOUR

THE STORIES OF THE COLOURS

栗の名を持つ秋色

ペリレーンマルーンは暗い赤の色相を持つ顔料です。 マルーン (maroon) の語源はフランス語で「栗＝マロン」に由来すると言われていますが､栗よりはえんじ色に近い色味です。ペリレーンはやや彩度が低く、渋い色味が特徴です。秋のイメージにもぴったりなペリレーンマルーン、ペリレーンバイオレット・ペリレーングリーンと合わせて使ってみては？

PERYLENE MAROON
ペリレーンマルーン

色番号	507	シリーズ	3	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	N/A
ピグメント	PR179				

ペリレーンってなんだろう

ペリレーンバイオレットは赤味のある紫の顔料です。ペリレーンは、近代的な合成有機顔料であり、1912 年頃に染料として入手可能となり、1950 年代後半にはアーティストの顔料として入手可能となっていきました。

PERYLENE VIOLET
ペリレーンバイオレット

色番号	470	シリーズ	2	堅牢度	A
透明 / 不透明	□	G/St	St	耐光性	N/A
ピグメント	PV29				

錬金術における “ 死者の頭 ”

錬金術における「死者の頭」を意味するキャプトモータムは、その名の示すとおり乾いた血のような色をしています。錬金術でのキャプトモータムとは「使えない残渣（ざんさ）」という意味で使用され、実際この顔料は練成した過程で出た残渣物であったとされます。なんとも恐ろしい名前ではありますが、独特の紫がかった落ち着いた風合いは、古来より重要な人物の衣装の色として重用されてきた色でもあります。

CAPUT MORTUUM VIOLET
キャプトモータムバイオレット

色番号	125	シリーズ	2	堅牢度	AA
透明 / 不透明	■	G/St	G	耐光性	I
ピグメント	PR101				

ちょっと変った土

アンバーのその名はイタリアのウンブリア地方に由来します。二酸化マンガンを多く含み、黒ずんだ黄褐色をしていますが緑系の下地に重ねると温かみのある赤褐色になる変り種。ローアンバーのロー（Raw）は “ 生 ” の意味です。オーカーやシェンナと同様に古代より用いられていながら、アンバーは 15 世紀末以前まで西洋絵画では一般的な色ではなかったとされています。

RAW UMBER
ローアンバー

色番号	554	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	□	G/St	G	耐光性	I
ピグメント	PBr7				

変わった土を焼いてみた

天然の茶色の粘土で作られており、採掘されたイタリアのある地域ウンブリアにちなんで命名されました。 未加工のアンバーを燃やすと色が濃くなります。ローアンバー（Raw は “ 生 ”）を焼いたものがバーントアンバー（Burnt は “ 焼かれた ”）です。加熱すると含有する水酸化第二鉄が酸化第二鉄（赤錆）になるため、ローアンバーより赤く温かみのある色合いです。

BURNT UMBER
バーントアンバー

色番号	076	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	□	G/St	-	耐光性	I
ピグメント	PBr7,PR101,PY42				

英国宮廷画家のブラウン

フランドルの肖像画家 アンソニー・バン・ダイク（1599～1641 年）が愛用した色が名前の由来となった、落ち着いた色味のブラウンです。バン・ダイクはオランダ出身ですが、イギリス・ロンドンにも非常に深いゆかりがあり、イングランド宮廷の主席宮廷画家としてたくさんの肖像画を残しています。

VANDYKE BROWN
バンダイクブラウン

色番号	676	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	◪	G/St	St	耐光性	I
ピグメント	PR101,PBk6				

イカ墨絵具

1778 年以後にドレスデンのゼイデルマン教授によって絵具として導入されたと言われるセピアは、イカ墨を原料としています。そのため特有の魚介風の臭いがあり、また日光には弱いという弱点がありました。現在ではカーボンブラック、インディアンレッドなどを混ぜ耐光性のある色として再現されています。

SEPIA
セピア

色番号	609	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	■	G/St	-	耐光性	I
ピグメント	PBk6,PR101				

古代英国の青

東アジアでは古来より藍として親しまれているインディゴはもっとも古いブルー顔料のひとつです。古代英国ではタイセイという植物から同様に抽出したブルーを使用していましたが、多くのヨーロッパでは 16 世紀まではごく限られたものでした。17 世紀には輸入によりヨーロッパにもたらされましたが使用を規制する法律が作られるほどの人気を誇り、1878 年にはドイツで合成インディゴが発明されました。

INDIGO
インディゴ

色番号	322	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	■	G/St	St	耐光性	II
ピグメント	PBk6,PV19,PB15				

WINSOR & NEWTON™ Professional WATER COLOUR

THE STORIES OF THE COLOURS

忘れ去られた画家ペイニー

18 世紀のイギリスの画家ウィリアム・ペイニーが考案したペイニーズグレーは、元はプルシアンブルー、イエローオーカー、クリムソンレーキを混合してつくる青みがかった黒に近い色です。ペイニーは革新的な発想で水彩画の発展に貢献したものの存命中には忘れ去られてしまった画家でしたが、ペイニーズグレーは今尚多くの画家に愛されています。黒の代わりとして使用する方法が広く知られています。

PAYNE'S GRAY
ペイニーズグレー

色番号	465	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	◪	G/St	St	耐光性	II
ピグメント	PB15,PBk6,PV19				

黒と灰色の間

ニュートラルティントは灰色の黒色の顔料です。不透明でステイニング特性があります。Neutral= 中間の、tint= 色味という意味ですが、日本語にすると「薄ねずみ色」と訳されるようです。Tint には、明るくする・淡くするという意味も含まれていますので、黒よりやや明るい灰色となっています。

NEUTRAL TINT
ニュートラルティント

色番号	430	シリーズ	1	堅牢度	A
透明 / 不透明	■	G/St	St	耐光性	II
ピグメント	PB15,PBk6,PV19				

伝統のブラック！

象牙を炭化させた顔料を使用していましたが、今日では骨炭を使用しているためボーンブラックと呼ぶこともあります。以前は処理が悪いものはかびやすいという欠点がありましたが、古くから親しまれている顔料のひとつです。着色力が強くないため、混色しやすい温かみのある黒です。

IVORY BLACK
アイボリーブラック

色番号	331	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	■	G/St	G	耐光性	I
ピグメント	PBk9				

煙を集めてつくった黒

石油を燃やした際の煤を集めたもの。日本の墨に似たものですが、墨が膠をベースとしているのに対し、こちらは水彩絵具なのでガムアラビックをベースとしています。やや青みを帯びた青墨を思わせる色調です。煙だけに非常に拡がりやすい色なので混色には気持ち少なめにした方が良いでしょう。

LAMP BLACK
ランプブラック

色番号	337	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	■	G/St	-	耐光性	I
ピグメント	PBk6/7				

錬金術の鉄！

「マース」は錬金術で鉄を意味する名称です。鉄は燃焼させると黒い酸化皮膜を作ります。同じ鉄系であるオーカー、シェンナ、アンバー、ライトレッド系と相性が良く、自然な風合いでトーンを落とせます。土系と相性が良いだけあってややブラウンがかったブラックです。しっかりとした被覆力が特徴の濃い黒です。

MARS BLACK
マースブラック

色番号	386	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	■	G/St	G	耐光性	I
ピグメント	PBk11				

コットマンの弟子デイビー

ウィンザー＆ニュートンが 19 世紀のイギリスの風景画家ヘンリー・デイビーのために開発したこの色は、含まれる顔料のスレート独特の緑味を帯びた柔らかな印象が特徴的です。デイビーはジョン・セル・コットマンに師事しましたが、コットマンとはもちろんウィンザー＆ニュートンのブランド「コットマン」の由来の水彩画の巨匠です。陰影描写に使いやすい柔らかな灰色です。

DAVY'S GRAY
デイビスグレー

色番号	217	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	◪	G/St	-	耐光性	I
ピグメント	PG17,PBk6,PBk19, PW5				

磁器＝中国 !?

シルクロードを通って遥か東の果てからやってくる透き通った白の美しい陶磁器をヨーロッパでは「チャイナ」と呼びました。ちなみに「ジャパン」もあり、これは漆器のことです。ジンクホワイトとも呼ばれるこの白は、透明度が高く着色力が低いため混色しやすいホワイトです。1834 年ウィンザー＆ニュートンが世界に先駆けて発売しました。

CHINESE WHITE
チャイニーズホワイト

色番号	150	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	◪	G/St	-	耐光性	I
ピグメント	PW4				

定番の白

チタニウムホワイトは、ホワイトの中でも最も白く最も不透明度が高いです。 着色力が非常に強く、その隠蔽力の強さからオペークホワイトとも呼ばれます。チタニウムホワイトの原料であるチタン鉄鉱はウィリアム・グレガー神父が 1791 年に発見しましたが、顔料としては 1916 ～ 19 年頃の工業化の成功を待たねばなりませんでした。

TITANIUM WHITE
チタニウムホワイト

色番号	644	シリーズ	1	堅牢度	AA
透明 / 不透明	■	G/St	-	耐光性	I
ピグメント	PW6				